

20202砂利採取業における死傷災害事例(最大99事例まで) (2020年)

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2020	1	13 ～ 14	プラント工場敷地内で、設置中のプラントの設備用塩ビ管（800丸）の荷降ろし手伝いのため、積まれたトラックの荷台に上がっていた。その際、荷台から退避前に塩ビ管をバックホー（吊り上げクレーン）で吊り上げ始めたため、塩ビ管に押されて荷台から落ちて腰を捻挫し、左側胸部に打撲を負った。	67	1	212	1 ～ 9
2	2020	2	10 ～ 11	用水路の清掃中、目の前に垂れ下がっていた葛のつるを撤去するため、軍手を着用した右手で鎌を持ち、左手で蔓を持って切ろうとした。その際、左手親指に裂傷を負い、腱を切断した。	65	8	364	1 ～ 9
3	2020	3	15 ～ 16	事業所内プラント作業場で、堀削用建設機械（パワーショベル）の採石バケット交換作業時、採石バケットとアームを連結しているピンを外すため金テコで叩きながら横に移動させ、最後に手で抜き取ろうとした際、手が滑ってピンが地面に落下し、左足の甲に倒れて左足親指甲を骨折した。	49	4	141	10 ～ 29
4	2020	3	9 ～ 10	鉄工所で鉄板を外に運んでいた際、ワイヤーで吊り上げて移動旋回中、荷が傾き直そうとして近寄ったところ、ワイヤーが切れて鉄板が落ち、顔面と足を骨折した。	36	4	372	10 ～ 29
5	2020	5	8 ～ 9	碎石場で、回転ドラム式の砂利洗浄機の清掃作業中、泥を洗い流すため、電源を切らずに自動回転するドラムの網目にゴムホースで水を掛けていた。汚れが多い箇所に接近して作業した際、ドラムの突起部が近付いてくることに気が付かず、ホースを持つ左手が突起部と手前の	52	7	169	10 ～ 29

13	2020	10	7 ～ 8	工場内で砂利積込完了後、木片除去作業の際、バランスを崩し、ダン プ荷台から2m下の地面に転落し、右手首を骨折した。	62	1	221	1 ～ 9
14	2020	11	7 ～ 8	原材料投入用ホッパー内部で氷を割る作業中、被災者が作業している のに気付かず、タイヤシャベルに原材料が投入され、内部で生き埋め になり、外傷性窒息により死亡した。	65	4	141	1 ～ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害事例\(最大99事例まで\) \(2020年\)](#)に戻る。